

西宮文化協会

会報

令和八年六月
通巻六九九号

(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
七月行事 文化講演会	令和七年度事業報告	令和七年度会計決算書	令和八年度事業計画	令和八年度会計予算書	令和八年度役員・武庫川女子大学教授 三宅正弘氏の記念講演から	同 右・今月のオススメ展覧会	同 右・伊賀越道中及六沼津の段	同 右・(日本盛)	

七月行事 文化講演会

能『船弁慶』の背景を知る

一、日時 七月十六日(木) 十時三十分～十二時

※午前中の開催です。開始時刻にご注意下さい。

一、会場 西宮神社会館

一、演題 「能『船弁慶』の背景を知る」

一、講師 能楽師 梅若基徳氏

一、定員 五十名

一、参加費 会員…無料、一般…五百円

一、主催 西宮文化協会、一般財団法人日本伝統芸術文化財団、

公益財団法人兵庫県芸術文化協会、阪神南文化

振興団体連絡協議会

一、申込み 西宮文化協会事務局(西宮神社内)

電話 0798・33・0321



通じて、能を国内外へ発信している。令和八年度
兵庫県文化功労者表彰受賞。



●講師略歴 シテ方観世流、重

要無形文化財総合指定保持者。
中世より続く梅若家に生まれ三
歳で初舞台。伝統を継承しつ
つ、他ジャンルとの共演等を

●講演内容 今年で第六回目を迎える「西宮・伝統

芸能の夕べ」では、西宮神社に特設舞台を設け、野外で能や文
楽などの伝統芸能を上演して参りました。本年は西宮神社の船
渡御と縁のある能『船弁慶』を上演致します。九月の上演を前
に、『船弁慶』の背景や見所を解説致します。また、今回の講演
会では装束の展示や、能の謡(うた)を会場の皆さまと一緒に声を出
していただくワークショップも企画して
います。

能は敷居が高い、楽しみ方が分からな
い、そんな方もおられるのではないで
しょうか? 能の見所、楽しみ方を知っ
ていただきたいと思います。是非お気軽
にご参加ください。

○詳しくは同封のチラシをご参照くださ
い。また「西宮・伝統芸能の夕べ」につい
ては次号(七月号)でご案内致します。

告 予

八月行事文化講演会

日時 八月三十日(日) 十時三十分～十二時

講師 神戸史学会会員 森地一夫 氏

演題 「そこに六甲山があった」

*午前開催です。詳細は次号にてご案内致します。

酒 清
日本盛

西宮文化協会 会報 第六九九号

発行日 令和八年六月一日

発行者 西宮文化協会 会長 吉井良昭

〒六六二-〇九七四 西宮市社家町一の十七 西宮神社内

電話 0798・333・0321

FAX 0798・333・5355

E-mail: koho@nishinomiyae-bisu.com

印刷所

株式会社 旭プリント